



## 2019年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年4月26日

上場会社名 enish 上場取引所 東  
 コード番号 3667 URL <http://www.enish.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安徳 孝平  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 高木 和成 TEL 03-6447-4020  
 四半期報告書提出予定日 2019年5月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第1四半期の業績(2019年1月1日～2019年3月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	1,105	27.0	392		393		398	
2018年12月期第1四半期	1,514	45.2	97		102		107	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	41.81	
2018年12月期第1四半期	12.65	

(注)2018年12月期第1四半期及び2019年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失金額であるため記載していません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第1四半期	1,842	1,345	69.4	128.00
2018年12月期	1,874	1,306	66.5	138.53

(参考)自己資本 2019年12月期第1四半期 1,277百万円 2018年12月期 1,246百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		0.00		0.00	0.00
2019年12月期					
2019年12月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年12月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

### 3. 2019年12月期の業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

2019年12月期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから記載していません。なお、当該理由等につきましては、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期1Q	9,982,400 株	2018年12月期	9,001,600 株
期末自己株式数	2019年12月期1Q	株	2018年12月期	株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期1Q	9,298,722 株	2018年12月期1Q	8,470,933 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
3. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費は緩やかな景気回復基調が継続しております。

当社の主な事業領域である、モバイルゲーム事業を取り巻く環境につきましては、モバイルゲームの世界市場は6兆円を超える市場規模に拡大し成熟化の兆しがみられるものの、アジア市場については中国と日本が市場を牽引しており、全世界の6割以上のシェアを誇っております。

このような事業環境の中、当社では当第1四半期累計期間においては、樺坂46・日向坂46公式ゲームアプリ「樺のキセキ」は、引き続きユーザーの皆様からは高い評価をいただいております、累計400万ダウンロードを突破いたしました。より多くの方々に楽しんでいただけるように、機能の追加、魅力的な施策を実施していくことで収益基盤の安定化に努めてまいります。「ぼくのレストラン2」「ガルショ☆」は、サービス開始から8年経過した現時点でも収益水準を維持しております。今後もよりきめ細やかな対応を図り、ユーザーの皆様への満足度向上に努めてまいります。

当事業年度においては、自社のノウハウを生かしたオリジナルタイトル『De:Lithe (ディライズ) ～忘却の真王と盟約の天使～』と、「HiGH&LOW」シリーズ初となる公式ゲームアプリ『HiGH&LOW THE GAME ANOTHER WORLD』のリリースに向け鋭意開発中であり、この開発コストが計上されております。また、上海晨之科信息技术有限公司(本社：上海、以下MorningTec)とゲームアプリを共同開発し、日本のみならず全世界で配信すること、並びにMorningTecが開発するゲームアプリを当社がローカライズし日本で配信することについて合意いたしました。その第一弾として『Equinox (エキノックス) ～侵食されたセカイ～』を日本国内でも配信する準備を進めております。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は1,105百万円(前年同四半期比27.0%の減少)、営業損失は392百万円、経常損失は393百万円、四半期純損失は398百万円となっております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期会計期間末の流動資産につきましては、前事業年度末に比べて31百万円減少し、1,587百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少(前事業年度末比38百万円の減少)によるものであります。固定資産につきましては、255百万円となりました。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ31百万円減少し、1,842百万円となりました。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末の流動負債につきましては、前事業年度末に比べて70百万円減少し、445百万円となりました。これは主に、買掛金の増加(前事業年度末比44百万円の増加)があった一方で、未払金の減少(前事業年度末比25百万円の減少)及び前受金の減少(前事業年度末比29百万円の減少)及びその他流動負債の減少(前事業年度末比59百万円の減少)によるものであります。固定負債につきましては51百万円となりました。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ70百万円減少し、497百万円となりました。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べて38百万円増加し、1,345百万円となりました。これは主に、四半期純損失を398百万円計上したものの、第三者割当による行使価額修正条項付第12回新株予約権の権利行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ214百万円増加したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期につきましては、ゲーム事業に注力し、既存タイトルの売上高の維持・拡大を図るとともに、新規タイトルとしてIPタイトル1本及びオリジナルタイトル1本を投入、さらに海外パブリッシングとタイトル展開を多様化することで収益拡大と安定した収益基盤の構築を行ってまいります。

エンターテインメント事業を取り巻く環境は変化が激しく、当社の事業も短期間に大きく変動する可能性があること等から、信頼性の高い業績予想数値を算出することが困難となっているため、決算業績及び事業の概況の速やかな開示に努め、業績予想については開示を見合わせます。

## 2. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度において重要な営業損失及びマイナスの営業キャッシュ・フローを計上し、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しておりました。

当第1四半期累計期間において、依然営業損失及びマイナスの営業キャッシュ・フローが生じております。

以上により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しておりますが、①収益性が高いタイトルに対して優先的に開発・運営人員を配置することによる、売上の維持拡大、②プロダクトポートフォリオの見直し及び品質管理による収益力の強化、③資金調達や資金繰りの安定化、④経費の削減に努めてまいります。なお、2019年1月7日付で発行した第三者割当による行使価額修正条項付第12回新株予約権が2019年3月31日までに9,808個行使された結果、423,105千円の資金調達をしており、財政基盤の安定化が図られております。これらの改善策を状況に応じて適切に推進していくことにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

## 3. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,029,319	991,287
売掛金	463,137	474,290
前払費用	121,188	110,901
その他	4,654	10,733
流動資産合計	1,618,299	1,587,213
固定資産		
投資その他の資産		
敷金及び保証金	241,757	241,729
長期前払費用	3,901	3,285
その他	10,090	10,090
投資その他の資産合計	255,748	255,104
固定資産合計	255,748	255,104
資産合計	1,874,048	1,842,317
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	205,476	250,025
未払金	95,536	69,633
前受金	91,477	62,054
その他	123,556	63,972
流動負債合計	516,046	445,686
固定負債		
資産除去債務	50,035	50,153
その他	1,564	1,340
固定負債合計	51,599	51,493
負債合計	567,645	497,180
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,801,370	2,015,767
資本剰余金	1,800,370	2,014,767
利益剰余金	△2,354,780	△2,752,824
株主資本合計	1,246,960	1,277,709
新株予約権	59,442	67,427
純資産合計	1,306,402	1,345,137
負債純資産合計	1,874,048	1,842,317

(2) 四半期損益計算書  
(第 1 四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第 1 四半期累計期間 (自 2018年 1 月 1 日 至 2018年 3 月 31 日)	当第 1 四半期累計期間 (自 2019年 1 月 1 日 至 2019年 3 月 31 日)
売上高	1,514,724	1,105,552
売上原価	1,378,669	1,320,045
売上総利益	136,054	△214,492
販売費及び一般管理費	233,558	177,789
営業損失 (△)	△97,503	△392,282
営業外収益		
受取利息	4	5
その他	417	240
営業外収益合計	421	245
営業外費用		
支払利息	726	4
株式交付費	4,867	1,147
その他	30	127
営業外費用合計	5,625	1,279
経常損失 (△)	△102,707	△393,315
特別損失		
減損損失	3,834	4,125
特別損失合計	3,834	4,125
税引前四半期純損失 (△)	△106,541	△397,441
法人税、住民税及び事業税	573	602
法人税等合計	573	602
四半期純損失 (△)	△107,114	△398,044

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第 1 四半期累計期間において、新株予約権の行使請求に伴い新株式980,800株の発行を行いました。この結果、当第 1 四半期累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ214,396千円増加し、当第 1 四半期会計期間末において資本金が2,015,767千円、資本準備金が2,014,767千円となっております。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社は、エンターテインメント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。